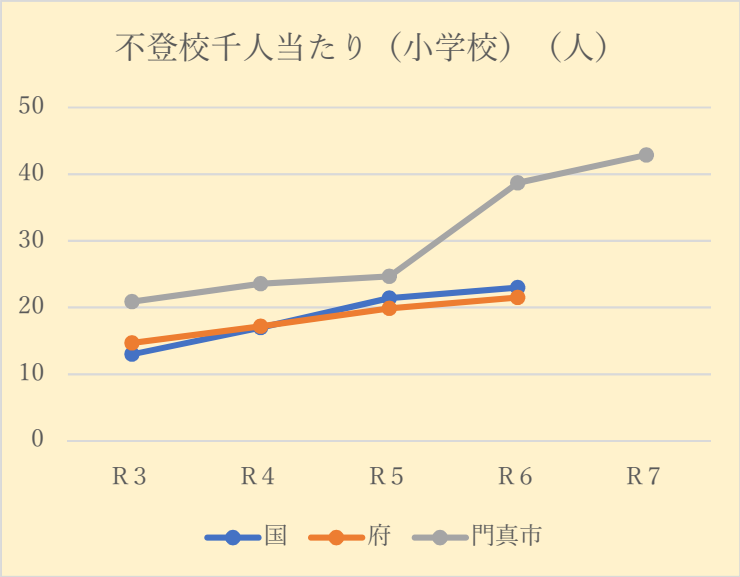
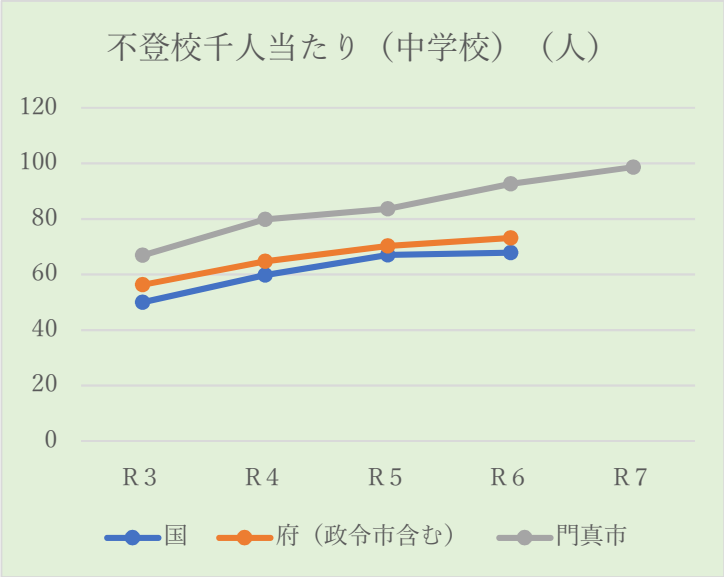
資料３

門真市の不登校の状況（国・府との比較）

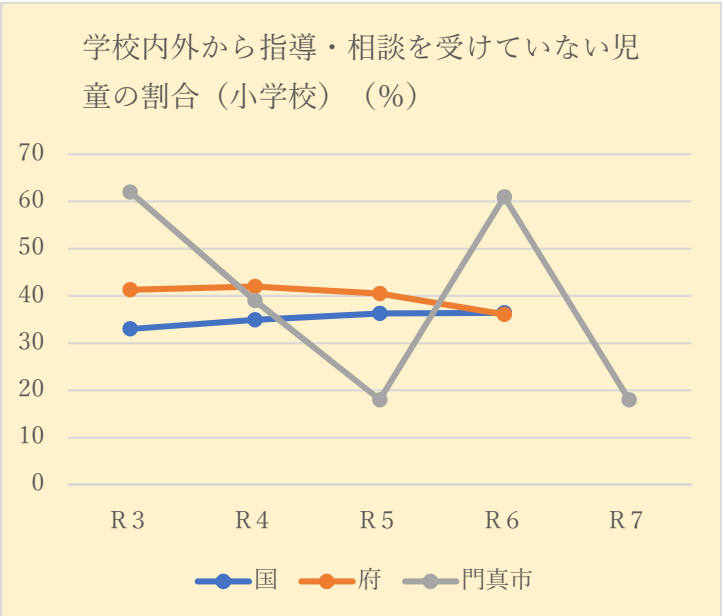


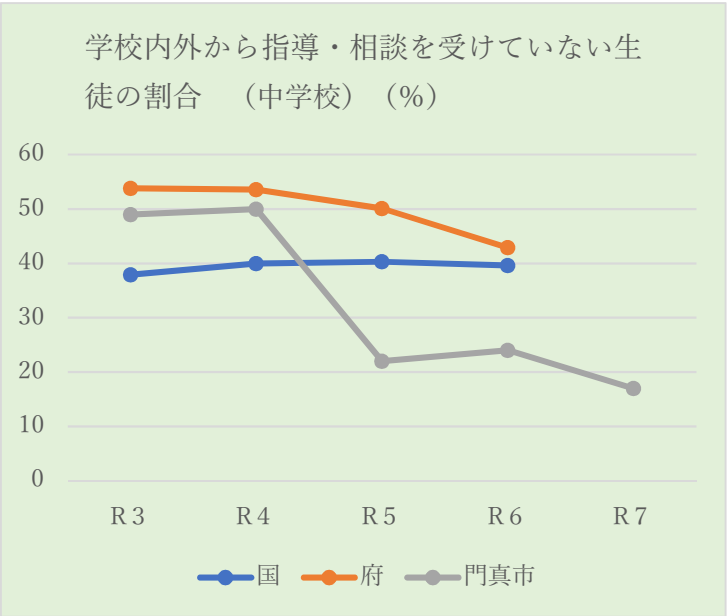


※令和７年度の国・府の数値の発表ままだの段階であるため、令和７年度は門真市のみを掲載

小学校：令和３年度は 20.9 人だったのが、令和７年度には 42.9 人まで増加。令和６年度は府・国の平均を大きく上回る。

中学校：令和７年度には 100 人に近い 98.7 人。国・府も千人率は増加しているが、門真市も同様。ただし、増加率でいうと、R5→R6、R6→R7 と比較すると鈍化している。





※不登校児童生徒のうち、指導・相談受けていない割合を示している。

※令和７年度の国・府の数値は未発表であるため、令和７年度は門真市のみを掲載

小中学校ともに、令和６年度で増加したが、令和７年度では改善。中学校は国・府よりも相談指導受けていない割合が少ない。

推測になるが、令和７年度改善したのは、多くの学校で生徒指導会議、校内教育支援会議等を実施する中で SC や SSW を会議体に参加してもらい、専門家によるアセスメントを行う機会が増えたため。